



# 滝田医院ニュース

〒022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院  
電話0192(29)3108 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・リハビリテーション科

第2号

発行日 2004(平成16)年6月10日

目次	
高血圧のはなし	1面
流行りの病気(第二回)	1面
健康保険のしくみ	2面
胃カメラ2台目導入	2面
医師随想	2面

## 高血圧症について

去る1月28日、盛町の保健介護センターにて、生活習慣病予防講演会「高血圧症の基礎知識とその予防」と題して講演を行いました。聴衆は100名ほどでしたが、当院の患者さんの顔も見受けられました。

いくつ以上の血圧を高血圧というのか？高血圧の原因は何か？高血圧を治療する意味は何か？などについてお話をさせていただきました。皆さんご多忙中にもかかわらず、口下手な私の拙い話を聞いていただき、感謝しております。

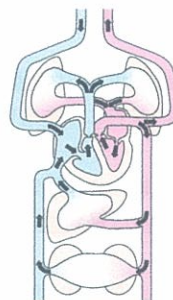
当院の患者さんにも高血圧の治療を受けておられる方が大勢いらっしゃいます。県立病院をはじめ他の病院さんから移ってこられた患者さん、当院で治療を開始した患者さんなど様々です。

おおむね血圧の調節は良好で、なかにはクスリの量や種類を減らせることができた患者さんもいらっしゃいます。

わかっていたきたいのは、血圧をさげる目的です。心筋梗塞や脳卒中など大きな病気を予防するために高い血圧をちょうど良い血圧まで下

げるのです。

たまに、「血圧がちょうど良くなったので、血圧のクスリをやめた。」という患者さんがいます。こういうことをすると血圧がクスリを飲み始める前よりも上がってしまうことがあります。高血圧に限りませんが、クスリのこと、病気のごときは、必ずかかりつけの医師に相談してから決めるようにしましょう。



## お知らせ

6月25日

(6月最後の金曜日)

は、  
午後休診です。

なお同日午前中は通常通り、8時半から12時まで診察します。  
医師会主催の「保険問題講習会」に事務担当者と医師が出席するためです。ご迷惑をおかけしますが、ご了解ください。

## はやいの病気(第二回)

お子さんの間に、夏かぜがはやりはじめています。冬のかぜとは違い、夏かぜはセキや鼻汁が少なく、のどの痛みや発熱などの症状が中心です。溶連菌やエンテロウイルスなどが原因となることが多いようです。溶連菌の場合は抗生物質の内服が必要です。急な発熱(それにのどの痛み)を主に訴えるお子さんは、早めに病院を受診して検査を受けるようにしましょう。溶連菌の検査は簡単で、10分程度で結果が出ます。ほかに夏に流行するお子さんの病気として、水痘(水ぼうそう)、手足口病などがあります。軽い発熱と発疹(皮膚のボツボツ)が出た場合は注意してください。また咽頭結膜熱(プール熱)はという病気もあります。発熱と結膜炎(白目の部分が赤くなる)が主な症状です。学校でプールが始まると流行する恐れがあります。プールに入る前後は手足や目をよく水洗いすることが予防につながります。

当院では今のところ、溶連菌の患者さんが春先から引き続きみられます。水痘の患者さんもボツリボツリと来院されています。運動会も終わり梅雨に入って疲れが出て体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調の変化には親御さんが注意を払ってあげてください。

## 保険証、拝見します。

「保険証を拝見します。」

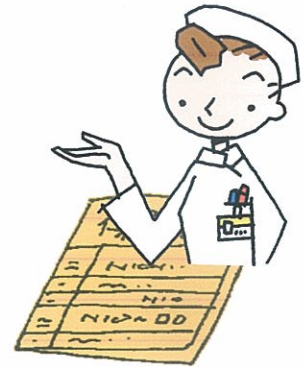
はじめて受診した患者さんばかりでなく、毎月通院している患者さんでも、月初めには、受付にこういう声を掛けられると思います。なぜ保険証は毎月みせなければならぬのでしょうか？

患者さんに窓口で払っていただく金額を「自己負担金」といいます。残りの医療費は健康保険により、まかなわれています。このお金は、病院からの請求を保険側が厳しくチェックして、支払われます。保険証の種類が変わったばあいは保険の資格に変更があったということです。で、番号が変わります。したがって病院か

ら健康保険側に提出する請求書の様式も変わってきます。また保険証が変わらない場合でも、健康保険の規則で毎月一回は保険証を拝見して保険資格があることを確認するように病院は義務付けられているのです。

「健康保険のおかげで、窓口で払う金額は少なくすんでいる。この保険を正しく使うために、保険証は窓口で確認してもらおう。」という意識をもついただければ幸いです。

## 保険証は 毎月1回確認



## 上部消化管内視鏡（胃カメラ）2台目 導入。

昨年4月の開業以来、上部消化管（食道、胃、十二指腸球部）の検査を1台の内視鏡で行ってきました。

本年3月末より2台目の内視鏡（オリンパス社製XP260）を導入し、従来の機種と並行して使用しています。

従来の機種（オリンパス社製XK240）も十分に細いのですが、今回導入した機種は最新式でさらに細い径のものです。

右の写真でもその細さが十分お分かりいただけます。径が細くなればそれだけ検査のときの患者さんの苦痛も軽減されます。

「胃に入っているのが、わからないくらいだった。」という患者さんの声もいただいています。

ただし、患者さんの年齢や性別、病気によっては従来の機種の方が、苦痛が少ないばあいもあります。機種を選択は医師にお任せください。

内視鏡検査は曜日を問わず朝8時半から行っています。検査に万全を期すため、医師の診察を受けた上での予約制となります。ただし緊急の場合はこの限りではありません。また時間の都合のつかない患者さんをご相談に応じます。（午前中に二人目、三人目を検査する場合もあります。）

お気軽に医師にお申し出ください。



左がXK240、右がXP260です。XP260の先端部はわずか5ミリメートルという細さです

## ずいそう（最近思うこと）

大船渡市の学校給食がセンター化される方針だと聞きました。もうすでに決まったことなのでしょうが、二十数年ぶりに帰郷した私にとって、昔と変わらないままで驚いたことがいくつかありました。そのひとつが自校給食でした。この「効率重視」の世の中に何と云うことでしょうか！子どもを食事を通じて教育育てる、所謂「食育」という観点から見ればどうでしょう。素材を作ってくれる人、それを調理してくれる人、その人々の顔が見える自校給食の何とすばらしいことでしょうか。そして実際に美味しいら

しいのです。逆に、センター給食の学校では、好き嫌いが多く、給食を毎日残す子どもが多いらしいのです。

「効率」を重く見れば給食センター化は「正しいこと」なのかもしれません。しかし、効率が悪くとも、大事なもの、良いものは自校給食以外にも、たくさんあったはずで、それらがほとんど切り捨てられているのがこの時代のようなのです。

